

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物

- 2、3面 解放45周年のベトナム
- 4、5面 韓国民主化の歩み
- 6面 ベトナム訪問案内
- 7面 列島AALA
- 8面 わたしとAALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2020年7月1日 No.720

人種差別への抗議行動が全米・全世界に拡大

黒人暴行死で 対立煽るトランプ政権に批判



アメリカ黒人差別抗議デモ (NHK テレビより)

5月25日、米中西部ミネソタ州で起きた白人警察官による黒人男性への暴行致死事件をきっかけにした抗議行動は、6月初めまでに全米140都市に拡大、欧州やアフリカ、アジア、中南米など世界各地で、また日本の東京、大阪などで「黒人の命は大切だ (Black Lives Matter)」のスローガンを掲げて、人種差別に抗議する集会やデモ行進がおこなわれました。

とりわけアメリカでは参加者たちを暴徒呼ばわりして対立をあおり、軍隊まで動員して制圧の構えをみせたトランプ大統領への批判と怒りが高まりました。

世界各地の人権問題に仮借のない批判を加えるロイター通信のコラムニストは「中国を非難する米国の偽善、超大国失墜にとどめ」と題する論評を配信し、「米国の民主主義が暴政へと劣化していく恐れは、予言されていた」と書いています。

欧州では、社会、経済的な格差のほか、背景となっている欧州列強による過去の植民地支配とそのもとで形成された人種主義がクローズアップされました。「英国も無実ではない」とか「自国に残る差別の遺産を一掃しよう」など声が相次ぎました。各地の議会や

自治体では、奴隷制や売買に従事した人たちの銅像を撤去したり、街路や広場の名称変更を求める運動がおきています。

日本AALAは、創立以来、人種差別の撤廃を掲げ、南アのアパルトヘイト撤廃運動を初め、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの人々と連帯し、貧困、飢餓是正、人道問題解決に取り組んできました。コロナ禍のもと、新自由主義の誤りが明確になった今、世界のどの国でも人々が安心して暮らせる社会、人種差別のない社会の実現に向け運動を進めましょう。

解放45周年
ベトナムは
いま③

ベトナムのたたかいは 世界秩序を揺るがした

巧みな外交で包囲網解いたタック氏

ジャーナリスト 鈴木勝比古



グエン・コ・タック外相（1921-1998）は抗仏戦争の時期、ボー・グエン・ザップ将軍の補佐官など人民軍所属で、その後、外交官に転じた。1956年、最初の任地国インドに総領事として赴任した。「1語も英語を話せなかったが、数年後には英語も、フランス語も習得した」と言う努力家だ。赴任前に、ホー・チ・ミン主席にナイフ、皿の扱いや外交儀礼の身に付け方を聞いたが「他の人を見て学ばばいい」の一言だけであった。

タック外相の任期（1980-1991）は1979年1月のベトナム軍のカンボジア進攻とポル・ポト政権追放、同年2月～3月中国軍のベトナム北部国境からの侵略、その後のベトナムに対する国際制裁の時期であった。英人記者が「ポル・ポト政権の国境侵犯をなぜ国連に提訴しなかったのか？」と聞いたことがある。タック外相は「当時は国連を重視していなかった。なぜなら国連安保理常任国5カ国のうち4カ国がベトナム侵略国だったからだ」と答えた。

タック外相が指摘した4カ国と日本の侵略をふりかえる。フランスは19世紀後半から20世紀前半の約80年間ベトナムをふくむインドシナ3国を植民地支配した。「分裂させて支配する」という帝国主義の常とう手段で、ベトナム人をカンボジアなどで下級官吏として利用したことがカンボジア人の敵意を助長した。ベトナムも3分割した。北部、中部を保護領・国、南部を直轄統治とした。その後の南ベトナムへの介入の根はここにある。

日本は1940年、援蒋ライン（蒋介石援助のルート）を切断し、東南ア出撃拠点をつくるため仏領インドシナに進駐した。宗主国フランスが認めたため「仏印進駐」と呼ばれる。日仏共同支配体制だったが、日本の敗色が濃くなり、態勢挽回を図るため1945年3月9日に仏支配を覆すクーデターで、ベトナムを単独支配した。

この時期、ベトナム北部を飢饉が襲い、200万人が餓死した。若手の写真家・ボー・アン・ニン氏は飢餓の難民の群れを追い、約100枚の写真撮影

をした。この写真はその後、ベトナムの200万人餓死を裏付ける第1級の資料となった。解放30周年の2005年、存命中のボー・アン・ニン氏（1907-2009）をホーチミン市に訪ねて話を聞き、餓死者が大量に出た北部ナムディンの博物館で彼の写真を接写した。ハノイ南部の住宅街に餓死者を弔う記念碑が建っている。

歴史学者バン・タオ教授は、日本軍の食糧徴発、軍需作物への転作強要などが招いた災厄であり、「200万人餓死の主犯は日本で、共犯はフランスである」と断言した。当時、食糧難の日本でベトナムから送られた米が配給米とされていた。

イギリスの「ベトナム侵略」はあまり知られていない。英軍部隊が1945年9月から46年5月まで約8カ月間、「日本軍の武装解除」を理由にベトナム南部に上陸、占領した。ベトナム人民は日本軍の降伏（45年8月15日）直後から全国で一斉に決起し、ホー・チ・ミンが9月2日に独立を宣言したが、英軍は独立直後のベトナム南部に上陸し、独立運動参加者・支持者を弾圧してフランス軍の再侵略を助けた。

ホー・チ・ミンはトルーマン米大統領に書簡を送り、独立承認を求めたが無視された。1995年の米国との国交正常化のさいベトナム歴史研究会の雑誌『昔と今』は「ホー・チ・ミンの国書から米国の返書が届くまで50年かかった」と皮肉った。米英両国はベトナムの独立を当時は無視したのである。フランスは1945年から54年まで約9年間、戦費の70%をアメリカに頼ってベトナム侵略戦争を続けた。しかし、ベトナム人民はもはやかつてのようなフランスの奴隷ではなく、みずから獲得した独立を守り抜いた。1954年5月7日、ディエンビエンフーでボー・グエン・ザップ将軍率いるベトナム人民軍に仏軍部隊が降伏したニュースは、投降する部隊の写真とともに世界に植民地の時代の終わりを告げた。

しかし、54年のジュネーブ会議で米、英、仏、ソ、中5カ国がベトナムの頭越しに妥協してジュネーブ協定が締結され、ベトナムは北緯17度線で南北に分断された。ここでも諸大国の横暴は明らかである。アメリカはこの協定に調印せず、南ベトナムにゴ・

200万人餓死記念碑
ハノイの住宅地にある



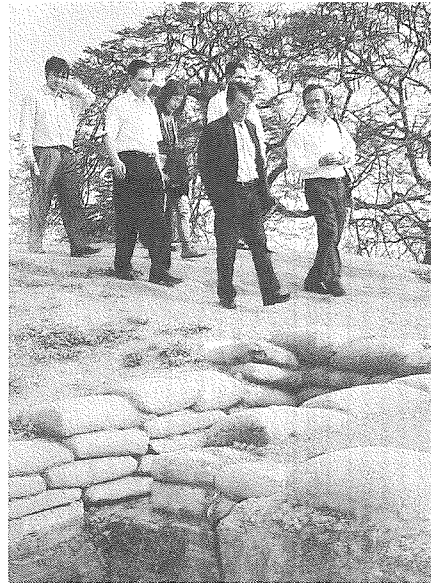
ディン・ジエム政権をつくって介入し、南北両ベトナムに対して全面的な破壊戦争を遂行した。アメリカはベトナム戦争で、第二次世界大戦の約3倍の砲爆弾を使用し、50万人を超える米軍を派遣し、枯れ葉剤をふくむあらゆる残虐兵器を使った。米国は約300万人が犠牲となったベトナム戦争の最大の責任者である。

中国もベトナムに対する侵略者となった。ポル・ポト政権は自国民を殺害したジェノサイド犯罪者であったが、彼らに巨額の経済・軍事援助を与えベトナムを攻撃させ、ベトナムの反撃でポル・ポト政権が崩壊すると、約50万の中国軍を北部中越国境を越えてベトナムを侵略させた。当時の中国の最高指導者・鄧小平はこの侵略直前に米国を訪問し「ベトナムへの懲罰」を公言していた。さらに中国は国連を中心にベトナム包囲網を敷き、ベトナムへの経済制裁を課した。日本も約束していた対ベトナム援助を凍結した。

私はベトナムが国際的な制裁で経済がどん底に陥った1980年代に家族とともに4年間、ハノイで生活したが、米国との戦争に勝利した輝きはもはやなく、貧困にあえいでいた。大学教授がハノイの交差点で、市民の自転車に空気を入れて日銭を稼ぐ光景さえ見た。

この時代に昂然と胸を張って中国のポル・ポト支援とベトナム侵略を糾弾したのがグエン・コ・タック外相であった。私が最初に同外相に会ったのは1983年3月、ニューデリーの非同盟第7回首脳会議の際だ。各国記者からカンボジア問題に関する質問が相次いだ。インドなまりの、ユーモアに富んだ英語で軽妙に答えて会場をわかせていた。

彼はベトナム戦争末期の1972、73両年のパリ会談で、ベトナム首席代表のレ・ドク・ト党政治局員の補佐官として米軍撤退を明記したパリ協定の締結に貢献した。交渉相手のキッシンジャー米大統領補佐官はパリでこう述べている。「ベトナム代表団の中ではグエン・コ・タック外務次官（当時）がもっとも嫌な相手だった。彼は卓越した交渉能力を身に付けていた」。



写真下…ジュネーブ協定から21年間南北を分断した北緯17度線のベンハイ川にかかるヒエンルオン橋と地元の生徒たち
写真右…ディエンビエンフーの最後の激戦地A1高地の仏軍塹壕跡（先頭左が筆者）



ベトナムと中国が1990年9月に中国の四川省・成都における非公開の首脳会議（ベトナムはグエン・バン・リン書記長、中国は江沢民総書記）でカンボジア問題と国交正常化に基本合意した3週間後に、グエン・コ・タック外相は米国に飛び、ニューヨークでペーカー国務長官とパリ会談以降初めての外相級の対米国交正常化会談に臨んで国交正常化のレールを敷いた。

ベトナムの20世紀は波乱に満ちた時代であり、数々の優れた指導者がたたかきを導いたが、私はその中から3人の名前をあげたい。8月革命、9月2日の独立宣言のホー・チ・ミン、ディエンビエンフーのポー・グエン・ザップ、そしてカンボジア問題でのベトナム包囲網を解いたグエン・コ・タックの3人の偉業である。もちろん、ベトナム人民が一丸となってたたかったからであるが、歴史は1人1人の個性ある人々が巧みに織りあげるものであることを3人が見事に示したからである。

お詫びと訂正

機関紙6月号2、3ページ ASEAN Wey は正しくは ASEAN Way でした。お詫びして訂正します。担当：教宣部

韓国民主化運動の歩み(上)

—「光州」から今次(2020年4月)総選挙まで

村山 俊夫 (著述業・ソウル市在住)

今年、コロナ感染の地球的拡散という未曾有の災厄の中で、光州民主化運動が40周年の節目を迎えました。例年のように各地で多くの人が集まり、5月の日々を思い返すという大々的な行事は開かれませんでした。

たが、韓国の人々の多くがそれぞれの胸の中で、改めて民主化の道のりがどれほど大きな犠牲と困難を伴うものなのかをかみしめる機会となりました。

その試みのひとつが「工場オルグ」でした。大学を中退したり、卒業した学生たちが自分の身分を偽って、技能職労働者として就職し、中小企業が集まる工業団地などで労働運動を組織化し始めたのです。80年代中盤には毎年1000人くらいの学生出身の労働者が身分証や履歴書などの公・私文書偽造で検挙されたと言われるほど、その活動は広く、深く浸透し、その成果は1985年にソウル市内、「九老工業団地」で決行された9労組による連帯ゼネストなどに現れました。一方、農村には学生たちの「農活」と呼ばれた援農隊が向かい、昼は農作業を手伝いながら、夜は農村の現状や改革の方向などを学習する勉強会を開くなどして、伝統的な地域社会に変革をもたらす新風を巻き起こそうとしました。こうした地道な活動を通じて、学生たちは社会の現実を身をもって体験していきました。

しかしながら全斗煥政権の民主化運動に対する苛酷な弾圧はその手を緩めることがありませんでした。1987年1月14日に起きたソウル大生、朴鐘哲拷問致死事件は言論統制の網をかいくぐって国民に伝えられ、やがて警察、検察が事件を組織的に隠ぺいしようとした事実が暴露されると国民の怒りは政権そのものに向かい始めました。それまで野党側は、大統領直接選挙制を骨子とする憲法改正運動を通じた軍人政治の終息を訴えてきましたが、4月13日に全斗煥自らこれを拒否する声明を発表してから、その課題は学生運

動、労働運動、農民運動などを一つの目標に向けて統合していく共通の目標となっていきました。「6月民衆抗争」と呼ばれるこの巨大なムーブメントの中で、逮捕者・服役者の家族が結成した「民主化実践家族運動協議会」に集う母親たち、昼休みの時間を利用して市内デモに参加した「ネクタイ部隊」など、これまで現れなかった新しい運動の担い手が続々と街頭に姿を見せて、「国民運動」の実態を作っていたのです。

さらに憲法改正という制度的変革に、民主化の内実を付け加えようとしたのが、その年7月から9月にかけて全国で闘われた「労働者大闘争」



光州国立墓地にある記念像



1987年6月10日 明洞聖堂=民主化運動記念事業会オープンアーカイブ (<http://www.kdemo.or.kr/>) より

でした。わずか3カ月間に4000以上の事業場、122万人の労働者が参加し、その結果1000を超す民主労働組合が誕生し、後に「民主労総(1995年)」という全国組織が結成される基盤を作り出しました。

身障問題対策協議会(現・正義記憶連帯)が活動を開始したほか、93年には「環境運動連合」、翌年には「参与民主社会市民連帯(参与連帯)」などが相次いで誕生して、既成政党や知識人に依存することなく市民が自ら考え行動する新しいスタイルの社会運動が大きな流れを作り出すようになりました。政権は保守・革新の連立政権が続くことによって、民主化の速度に制動をかけることはありましたが、政党から自立した市民運動は、運動の拡散を通じて市民一人ひとりが変革の主体であるという意識を確実に育んでいきました。

集会、デモなどの街頭闘争から情報公開制度を利用した、行政費用の透明化を求める自治体への働きかけなど、これまでになかった取り組みも活発に行われました。2000年に実施された国会議員総選挙(韓国は一院制)に際しては「総選挙市民連帯」が組織されて、落選運動を展開したことは日本でも大きく報じられましたが、候補者の中から腐敗や反人権的活動を理由に欠格者のリストアップが行われて、86名の対象者中、59名が落選するという「成果」をあげたことも伝えられました。

1980年光州から

1980年5月18日に戒厳令の撤廃や不当に拘束された人々の解放を求めて始まった光州での平和な示威行動に、戒厳軍が投入され市民を殺戮したという事態は、決して偶発的に起きた「事件」ではありませんでした。18年間君臨し続けた「朴正熙軍事独裁政権」が倒れたあと、混乱に乗じて権力の座を狙っていた全斗煥にとって最大の障害物が金大中でした。彼を葬り去るために、その政治基盤であり、故郷でもあった全羅南道にねらいを定め、その地で起きた反政府・民主化運動を「北朝鮮の工作による国家転覆企図」としてフレームアップし、その首謀者を金大中とするシナリオを作り実行したのです。「華麗なる休暇」と名付けられた周到な作戦が準備され、戦車から軍用ヘリコプター、近くの基地には戦闘機まで出動待機させました。精鋭の空輸部隊は「暴徒の武装蜂起」を誘発するために市民への無差別発砲もためらいませんでした。こうして27日、最後の砦となった全南道庁に残った200名を超す「市民軍」が、自動小銃と手りゅう弾で武装した戒厳軍によって壊滅させられ光州の闘いは終わりました。



光州市民デモ
(大韓民国歴史博物館展示)

この後、学生を中心とした民主化運動は苛酷な弾圧と深い挫折感の中で、それまでの運動を点検し、再建の道を模索することになります。光州の闘いが指し示したものは、少数のエリートによる孤立した闘いではなく、労働者、農民、市民、学生など幅広い階層の人々が結合して大きな力を生み出さなければ、再び復活した軍事独裁を終わらせることはできないということでした。

市民民主主義の獲得へ

87年の年末に行われた大統領直接選挙は、民主陣営に候補者をめぐる分裂を引き起こし、全斗煥の後継者である盧泰愚を当選させるという結果となって、民主化運動にも大きな転機をもたらしました。形式的、制度的な民主化が一定の範囲で進行した結果、これまで運動の前衛的役割を果たしてきた学生運動は後景に引き下がり、代わって社会の多様な課題を解決しようとする市民運動団体の活動が前面に登場してくるようになります。

『韓国民間団体総覧(2012年版)』によると環境、人権、平和、女性、消費者など様々な団体の設立が90



87年6月民主化闘争の起爆剤になった朴鐘哲追悼の人波=民主化運動記念事業会オープンアーカイブ (<http://www.kdemo.or.kr/>) より

年代は80年代の3倍に、2000年代はさらに90年代の4倍に増加したと報告しています。1990年に日本軍の戦時性暴力を告発する「韓国挺

2020年 日本 AALA ベトナム訪問団に参加しましょう

今年、日本 AALA 連帯委員会は、東アジアサミット議長国ベトナムを訪れ、第6次「国際署名」を直接届けます。1975年4月30日、米軍が撤退し、ベトナムは解放されました。今年にはベトナム解放45周年です。

ツアーでは第6次「国際署名」の提出に加え、平和団体と懇談・交流し、魅力あふれる観光を楽しめます。みなさまのベトナムツアーご参加を心からお願いいたします。(注：コロナ禍の収束状況により、実施時期が変更になる場合があります)

月日	都市	現地時刻	交通機関	摘要	食事
10/11 (日)	成田・関西発 ハノイ着	午前 午後	航空便 専用車	各地空港集合 空路、直行便でベトナムの首都ハノイへ (所要約6時間30分) 専用車で市内へ 夜：団内交流夕食 <ハノイ泊>	B 機 D-R
10/12 (月)	ハノイ		専用車	午前：ベトナム連帯委員会を訪問し懇談 ASEAN 事務局へ署名の提出 午後：ハノイ市内見学 * ホーチミン廟、ホーチミンの家、一柱寺、文廟 * 36 街 (旧市街)、ドンスアン市場、ホアンキエム湖 <ハノイ泊>	B-H L-R
10/13 (火)	ハノイ発 ホーチミン市着	午後 夕方	専用車 航空便	午前：ハノイ市内で訪問 * 平和村 (枯葉剤被害の子供たちの支援施設) * ホアロー刑務所博物館 午後：国内線でホーチミン市へ (所要約2時間) <ホーチミン市泊>	B-H L-R D-R
10/14 (水)	ホーチミン市		専用車	終日：ホーチミン市内見学 * ベトナム戦争証跡博物館 (ベトナム戦争体験者と懇談) * ツーズー病院訪問 * 統一会堂 (かつての大統領官邸) * ベンタイン市場 (ホーチミン市最大の市場) * アオザイ博物館 <ホーチミン市泊>	B-H L-R D-R
10/15 (木)	ホーチミン市発	深夜	航空便	終日：オプションツアー参加または自由行動 OP①「ベトナム戦争の激戦地クチトンネルと英雄墓地訪問」 OP②「メコンデルタのミトーメコン川遊覧と水上市場見学」 OP③「ベトナム戦争体験者との懇談」 (鈴木さんと検討) 夜：団内の夕食交流会 その後、空港へ <機中泊>	B-H L D-R
10/16 (金)	成田・関西着	早朝		早朝：各空港に到着 解散	B-機

B = 朝食付、L = 昼食付、D = 夕食付、機 = 機内食 H = ホテルで R = 市内レストランで 機 = 機内食



宮崎

新田原基地の米軍基地化に抗議



日米共同訓練抗議集会に参加

国際署名を100筆集めると今年の4月に決めて、現在55筆手元にあります。新型コロナウイルス感染症で世界中がもがき苦しんでいる最中にこの国際署名は人々に希望とたたかいの展望を示すものと思いを始めています。請願事項の最初に「対立より協力を優先させる。『自然災害、感染症予防、環境問題などの協力を優先し、相互の信頼を醸成すること』」と強調している。本当にそうだと思います。

新型コロナウイルスに対するワクチン、治療薬の研究・開発を安倍晋三首相はG7と協力して進めると言います。感染源の中国、PCR検査の先進国韓国をわざわざ除外して、相互の不信を増幅させる政治を日本国民は望んでいないと確信しています。

私の住んでいる西都市の隣町にある新田原基地に突如として、2018年の秋に米軍が緊急時に使用するために日本国民の税金を115億円もかけて米軍専用の弾薬庫、燃料タンク、駐機場、庁舎、倉庫を整備し、誘導路の改修をするというニュースが飛び込んできました。弾薬の種類と量が具体的

に示されていないので、劣化ウラン弾・白りん弾・小型核兵器などが貯蔵されるのではないかと町民は不安でいっぱいです。弾薬のことを新富町議会で取りあげたAALA会員で日本共産党の吉田議員に対して、町長はわからないと無責任な態度です。また九州防衛局は「米軍が運用している戦闘機や輸送機・オスプレイなどが使用される可能性がある。」と回答しています。

米軍の緊急時とは機体のトラブルではありません。国家間のトラブルつまりアメリカが戦争するときです。米軍が戦争するときには新田原基地を使わせろということです。

新田原基地が米軍と自衛隊の出撃基地に生まれ変わろうとしています。選挙という民主的な手続きでオール沖縄が辺野古に新しい米軍基地はダメだと異議申し立てをしても、土砂投入を中止しないことと共通しているものは、日本政府とアメリカ政府の、日本国憲法を蹂躪して日米安保条約を最優先する政治だと思います。

(事務局長 佐川嘉正)

広島

中国帰国者との交流

私は、現役を退いてから、逝去された前任者の後を継いでヒロシマ革新懇事務局長に就任した。現役時代にまったく無知の分野だったが革新懇運動が統一戦線の真ん中にいることを知って取り組み始めたのが「行事日程」です。労働組合や民主団体の行事予定を一覧表にまとめ、メールで毎週発信してきた。2005年から初めて15年続いているが、情報はさまざまな組織から寄せられ3~4ページになることもあり、いろんな課題、テーマがあるものだと感心しながら情報発信した。この行事日程が、コロナ禍で2月の中、下旬から中止に始まり、3月からはほとんどの中止・延期です。それらの行事



には訂正線を入れますが線だらけと言う始末です。

この訂正線の入る間際に滑り込んだ「広島市中国帰国者の会」の「春節交流会」(写真)です。毎年1月下旬におこなわれていたが日中友好協会の招きで今年のはじめて参加した。広島中央公民館の大ホールには中国帰還者が民族衣装を着飾り、会場の入口には春聯、春舞台は勿論、両サイドの窓は剪纸(切り絵)で飾られ、テーブルの上には中華料理がところ狭しと並べられていた。すべて帰還者たちの手作りだと聞いて驚いた。殆ど一生を中国で過ごし、故郷に育てての親に感謝を込めた旧正月「春節」を祝い、不自由な言葉や困難な生活の中でも帰国者たちの親交を深め、支援する市民たちと交流を深めた。帰国者代表、市議会議員、友好協会長の挨拶に続き、いよいよ帰国者たちの成果発表。太極拳、華やかな衣装をまとった舞踏、ピアノ演奏、二胡演奏と多彩な芸で楽しませてくれた。日本で働いて15年になる内モンゴルの若者による馬頭琴の演奏も素晴らしかった。中国からの帰国者は、広島城の近くの高層アパートに約200人が住んでおり、春の花見交流会や秋には「中国残留日本人の体験を聞く会」が毎年開かれている。帰国者たちは高齢化し言葉が通じない中で医療問題など課題が多い。連携した取り組みの重要性を感じた。

(事務局長 利元克己)

岡山

コスタリカに旅して

この2月に亡くなられた、秋庭さんの講演を何十年も前に聞きま

した。原爆の被害を 50 カ国の言葉でビデオをつくり国連などの国際会議で各国の要人にレクチャーしたという内容でした。20 歳の頃から原爆反対のさまざまな行動をしていましたが、この運動はある意味、自己満足にすぎないのではないのかと思ったりしていた時に秋庭さんの話を聞き、これだと思いました。それで、すぐに AALA に入会しました。

2017 年核兵器廃絶を求めた「核兵器禁止条約」が国連で採択されましたが、この交渉議長がコスタリカのホワイト大使と知りどうしてもコスタリカに行きたいと思い実現しました。コスタリカは、エコツーリズム発祥の地であり、世界ふしぎ発見で環境問題や自然保

護を重視している国だということも知りました。また軍隊の無い国という事で大変興味深い国でもあり、最も魅了的な国でした。

選挙制度は完全比例制で男女が同数になるように工夫されているとか、子供たちも選挙をしてその結果は大人と違ったとか、本当に感激しました。憲法裁判所もあり、誰でも憲法違反があると感じたら提訴出来るそうです。ロベルト弁護士ともお話ししました。彼が 22 歳の大学生の時に、政府が米国のイラン攻撃に賛同した時に違憲裁判を起こし勝訴したのは大変有名な出来事です。また世界の平和運動や環境問題解決にも大きな影響力を持っています。また、大切にしているのは子供たちの教育で

す。1949 年に内戦の反省から軍隊を無くし、兵舎を学校に・博物館へ、「兵士の数ほど教師を」を合言葉に就学前から高校まで無償です。GDP の 8% を教育にあてるという法律まであります。

最初に現地の通訳方から、日本人はコスタリカを理想郷のように思っているが、そんなことはありませんと言われましたが、たしかに経済的には豊かな国ではないのかもしれませんが、多くの民族が混ざりあい、難民も拒まない人道的な国でした。平和、環境、人権を重視していて、日本とは大違いでした。コスタリカこそ美しい国と呼ばれるのがふさわしい国でした。

(事務局次長 脇本延子)



新型コロナウイルスで 外出自粛

最近、新型コロナウイルスの対応のため外出自粛で時間を持て余していたので、ずっと仕舞い込んで埃をかぶっていた日本共産党の綱領・古典教室の DVD を引っ張り出して視聴しました。

その中で、レーニンがマルクス・エンゲルスの本や手紙のやり取りを、手に入るのは全て取り寄せて読み、実際の活動に使用していたのが、不破さんの講義を聞いてわかりました。

レーニンは民族問題では、大き

な民族も小さな民族も全て平等に扱うということを原則にして、合同した連合体を提案しました。

これは、「階級及び階級対立をもつ古いブルジョア社会の代わりに、各人の自由な発展が、万人の自由な発展のための条件である自由な連合体が現れる。」の未来社会についての基本理念をマルクス・エンゲルスの書いた共産党宣言を読んでいたからだということでした。現在の AALA の活動につながっているなど思いました。

しかし、スターリンは、大ロシアに吸収合併する案を作成しました。それを読んだレーニンは、仰天しました。こんなことを許したら、反帝国主義で戦っている国が、国内で民族を抑圧することになり、台無しになる。粗暴なスターリンを書記長の座から更迭しろと訴えました。しかし、それは叶わず、3 度目の脳溢血で倒れ、そのまま言葉を発することもできず、

9 カ月後の 1924 年 1 月にレーニンは亡くなってしまいました。

国内で民族を抑圧と言え、現在の中国での香港の民主化運動やアメリカの黒人殺害抗議行動に対して「軍隊を出動させるぞ」と習近平、トランプが平和的な抗議行動を敵視していることと重なってきます。

私も、レーニンと同じようにとは言いませんが、茨城 AALA の事務局長なので、レーニンのようにマルクス・エンゲルスの本や手紙のやり取りを読み、実際の活動に活用しないとまずいのではないかと思いました。

Amazon でマルクス・エンゲルスの古典の値段を調べていますが、結構高いのでもったいない気もあります。非常事態宣言も解除され古典が遠ざかって、以前の生活に戻り、まとまりのない日々を過ごしています。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA
SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-11-7 第 33 宮庭ビル 4 階

電話：03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>

FAX：03 (3357) 6255 E-mail: info@japan-aala.org

振替 00110-6-72434 毎月 1 回 1 日発行 1 部 150 円 (送料 63 円)